

(様式)

## 常任委員会行政視察報告書

委員会名	子育て文教常任委員会	委員名	佐藤 さだお
視察地	東京都練馬区		
調査事項	ひとり家庭自立応援プロジェクトについて		
視察年月日	令和5年10月18日		
視察内容	<p>1, プロジェクトの基本的考え方</p> <p>「家庭・地域・行政」の3つの力でひとり親家庭の自立を実現</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○ひとり親家庭の自立に向けた努力を応援</li><li>○次世代を担う子どもの健やかな育ちを応援</li></ul> <p>2, プロジェクトの主なターゲット</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○児童扶養手当を受給するひとり親世帯：約3,600世帯</li></ul> <p>3, 先進的な取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○ひとり親家庭支援の専管部署の設置</li><li>○ひとり親家庭支援総合窓口の設置（オンライン相談）</li><li>○弁護士による法律相談の充実（平日月4回、土曜年3回）</li><li>○高等職業訓練促進給付金（16万円＋多子加算）</li><li>○ADR（裁判外紛争解決手続）費用の助成（上限5万円）</li><li>○就労支援セミナーの実施（パソコン講習会）</li><li>○訪問型学習支援・悩み相談の実施（小学4～中学2年のいるひとり親家庭）</li><li>○冊子「ひとり親家庭サポートBOOK」の発行</li><li>○ひとり親家庭支援ナビ（専用HP）を開設</li><li>○親子レクリエーション事業</li></ul> <p>4, 課題</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○ハローワークにおける就労のマッチング</li><li>○父子ひとり家庭への支援ニーズの把握</li></ul> <p>5, 本市における実施の可能性</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○練馬区はひとり親家庭の貧困状況を的確に把握してプロジェクトを開始しており、本市においても、まずはひとり親家庭の貧困状態やニーズを把握することが必要である。</li><li>○ADR（裁判外紛争解決手続）費用の助成は本市においても早急に導入を検討すべきである。</li></ul>		

※ 「視察内容」欄には、調査結果に対する意見、本市における実施の可能性、課題等を記載すること。

(様式)

## 常任委員会行政視察報告書

委員会名	子育て文教常任委員会	委員名	佐藤 さだお
視察地	群馬県富岡市		
調査事項	男女共通制服について		
視察年月日	令和5年10月19日		
視察内容	<p>1, 男女共通制服導入の考え方（方向性）</p> <p>(1) 中学校制服意識調査結果（令和4年10月）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○市内中学校において制服は必要である。</li><li>○現在の制服には様々な課題があることから見直しが必要である。</li><li>○新しくする制服はブレザーやスーツなどの新しいデザインとする方向で検討する。</li></ul> <p>(2) 見直す場合の配慮事項（抜粋）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○機能的配慮<ul style="list-style-type: none"><li>・夏服を通気性のよいポロシャツにするなど猛暑に対応したものとする。</li></ul></li><li>○経済的配慮<ul style="list-style-type: none"><li>・制服メーカーを1社に指定し、市内共通の制服（富岡モデル標準）にすることで数量を確保し、現行以下の価格設定を目指す。</li></ul></li><li>○生徒への配慮<ul style="list-style-type: none"><li>・性別にかかわらず、スラックスやスカート等を主体的に選択し、自由に組み合わせることができるようにする。</li></ul></li><li>○その他の配慮<ul style="list-style-type: none"><li>・富岡中学校と東中学校の統合に間に合うよう、令和6年2月末日までに納品が可能で、その後も安定供給ができるようにする。</li></ul></li></ul> <p>2, 新制服導入の効果</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○制服メーカーを1社にすることによって価格を抑えるとともに、レンタルやリユースが可能になり、保護者の経済的な負担が軽減できた。</li><li>○市内中学校の制服のデザインによる差別感がなくなった。</li></ul> <p>3, 課題</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○今後さらに少子化による学校の統廃合が進んだ場合制服メーカーや販売店が価格を上げることになり、保護者の経済的負担の増加が予想される。</li></ul> <p>4, 本市における実施の可能性</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○中学校数が多いので本市全体での実施はほぼ困難である。</li><li>○近隣の中学校数校が連携して制服メーカーを限定して新しい制服を導入することは可能であると思料する。</li></ul>		

(様式)

## 常任委員会行政視察報告書

委員会名	子育て文教常任委員会	委員名	佐藤 さだお
視察地	神奈川県小田原市		
調査事項	小田原三の丸ホールについて		
視察年月日	令和5年10月20日		
視察内容	<p>1, 小田原三の丸ホールの概要</p> <ul style="list-style-type: none"><li>(1) 延べ床面積：7,000 m<sup>2</sup>以上</li><li>(2) 事業費：約63億円(約80万/m<sup>2</sup>)</li><li>(3) 大ホール：1,105席(1階席686席、2階席419席)</li><li>(4) 小ホール：296席</li><li>(5) ギャラリー回廊：1階38.5m、2階42.7m</li><li>(6) 展示室：231 m<sup>2</sup>、最大4分割にして貸し出し可能</li><li>(7) スタジオ：77 m<sup>2</sup>、カワイグランドピアノ</li><li>(8) 練習室：練習室A13 m<sup>2</sup>、練習室B10 m<sup>2</sup>、練習室C15 m<sup>2</sup></li></ul> <p>2, 事業の経緯(抜粋)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>(1) H20.06：事業見直し(市長交代のため)</li><li>(2) H24.04：現計画の基本計画を作成</li><li>(3) H25.03：設計者選定</li><li>(4) H27.07：不落(1社対応 予定価格73億円 入札金額94億円)</li><li>(5) H27.11：今後の方針を公表(実施計画に自由な発想による事業提案)</li><li>(6) H28.11：事業予算・整備内容・事業提案方式による事業の実施を公表</li></ul> <p>3, 小田原市による事業提案(設計・施工一括方式)の効果</p> <ul style="list-style-type: none"><li>(1) 提案の条件(要求水準)を作成する必要があるが、その作成に基本計画をベースに取り組めば、整備の遅れを最小限に抑えることが出来た。</li><li>(2) 民間事業者から前向きな意向が示されており、入札不調のリスクも無い。さらに、設計料を含めて予算内で整備を行うことで、財政的な負担も一番少なく出来た。</li><li>(3) 実施計画にとらわれず諸施設の配置や機能を検討することで、小ホールを含めた整備をすることが出来た。</li></ul> <p>4, 本市における実施の可能性</p> <p>○小田原市が当初入札が不調となったために事業方式を設計・施工一括方式に変更したことは本市が今後新しい文化会館を建設する上で大いに参考にすべきと思料する。</p> <p>○小田原三の丸ホールは小田原城の真ん前にあり、小田原城をマッチングしたデザインで小田原観光スポットの一つになっていて、さらに、施設内にあるギャラリー回廊は市民の皆さんが芸術に親しむ憩いの場となっていることも参考にすべきと思料する。</p>		